代表 正川 延子

TNR活動に関するアンケート調査へのご協力お願い

異常気候が続き心配しましたが、ようやく秋らしい季節になりました。日頃は「みなねこの会」の活動 に何かとご協力頂きありがとうございます。

<アンケートをお願いする経緯>

さて、「みなねこの会」では、"人と動物とが豊かに共生する地域社会の実現"を目指し、不幸な猫を増やさないための活動や適切に管理する活動を行っています。その一環として、堺市に活動しやすい環境を作ることを以前から要求してきましたが、堺市の壁は高く、実現するには至っていません。

しかし、昨年9月竹山市長の市長選出馬決起集会に参加し、関係者に「野良猫対策 堺市への要望書」を手渡し、また、今年9月に行われた竹山市長タウンミーティングに出席し、再度 野良猫対策について、発言・要望書を提出しました。その結果、10月になって堺市の保健所、動物指導センターの方から「地域猫活動をしている現場の人の声を聞きたい」と言う申し入れがあり、会議を持つことができました。

この話し合いで、私達の要求「活動しやすい環境を作る」、具体的には主に次の3点を要求しました。

- ①地域猫についての啓蒙を堺市広報に掲載、
- ②最近トラブルがあった公園にTNR活動の主旨に合った文言の看板の設置、
- ③TNR活動の推進
 - … その結果、
- ①については、課題と受け止め、掲載するよう努力する。
- ②については、公園課への働きかけもあり(私達も直接交渉していた)実現しました。
- ③については「地域猫推進」を掲げている堺市の立場上、管理主体がはっきりしないTNR活動 (文字通り解釈すれば)には難色を示しています。

この会合では十分な成果を挙げることができませんでしたが、私達の活動の方向性が少し見えてきたように思います。それは公園猫に焦点を当て、公園でのTNR活動を堺市に認めさすことから始まると考えています。

<今後の方針>

竹山市長への要望書が関係部署に回され、それなりの指示があったことが分かったので、タウンミーティングに出席し、実情を訴え、要望書を提出する。

- ①公園が野良猫再生産の温床になっている。
- ②公園猫を増やさないためには、TNR活動が有効かつ必要である。
- ③「みなねこの会」は、今まで野良猫を減らすために、1,000頭以上TNRをし、1,000万円以上の個人や 会の資金を費やし、今も適正に管理している。
- ④公園課と連携を図り、協働で野良猫の管理を行う。また、堺市は、看板設置・ボランティア証の発行など活動しやすい環境を作る。
 - (公園は今までTNR活動をしてきた実績もあり、近隣とのトラブルも少ないので風穴を開けることができるのではないかと考えています)
- ③の事実はインパクトがあり、市としても無視できないものと思われます。しかしながら、今まで話としてお聞きしてきましたが、会として正確には把握できていません。

そこで、皆様方に現在または過去の活動を教えて頂ければ、より強くアピールすることができると思いますので、アンケートをお願いすることにしました。

その結果を踏まえ、公園課との協働ができるような提案をまとめ、堺市に提出したいと考えています。

<アンケートのお願い>

前述しましたように、みなねこの会の会員の方及び会が、今までに(現在も)TNR活動のために費やしてきた労力・実績は膨大なものになると考えています。この事実を市に認めてもらい

少しでも活動しやすい環境を作ることが大切だと考えています。そのためには、少しでも多くの方の活動(たとえ1頭でもTNR活動をした事実があれば)を大切に取上げていきたいと思っています。皆様方の今までの活動を無駄にしないためにも、ご面倒だとは思いますがよろしくお願いします。

また、堺市以外のことでも会員の方が活動されたことは事実ですので、ご記入願います。

ずいぶん古いこともあると思いますので正確には難しいとは思います。分かる範囲でお答えください。 みなねこの会も皆様方の声をできるだけ反映していきたいと考えていますので、アンケート回収にご協力お願いします。

個人のプライバシーにも関わることなので扱いは慎重にさせて頂きます。

グループでTNR活動されている方は、代表の方がまとめて頂いても結構です。(重複を避けるため)

申し訳ありませんが、経費節減のため82円切手を貼って、投函してください。 お忙しいとは思いますが11月末日までにご返事いただければ幸いです。

以上よろしくお願いいたします。